

令和 3 年 12 月 20 日  
静岡県危機管理部原子力安全対策課

## 令和 3 年度静岡県原子力防災訓練の実施

---

### 1 要 旨

浜岡原子力発電所における原子力災害に備え、毎年、県と関係 11 市町の主催で、図上訓練及び実動訓練からなる原子力防災訓練を実施している。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実動訓練は実施せず、図上訓練のみを実施した。

今年度は、感染症に対し必要な対策を講じた上で、図上訓練及び実動訓練を 2 日間で実施し、災害応急対策の習熟や広域避難計画の検証に加え、国が示したガイドラインに基づく感染症流行下における防護措置の方法について確認を行う。

### 2 概 要

#### (1) 目 的

静岡県地域防災計画（原子力災害対策編）に基づく総合的な原子力防災訓練を実施し、災害応急対応の習熟及び関係機関相互の連携協力体制の強化を図るとともに、浜岡地域原子力災害広域避難計画及び市町の避難計画等の検証を行う。

#### (2) 日 程

1 月下旬～2 月上旬の 2 日間

#### (3) 場 所

図上訓練 静岡県庁、原子力防災センター 等

実動訓練 東名高速道路浜名湖 S A（下り）、浜松市渚園 等

#### (4) 主 催

静岡県、御前崎市、牧之原市、掛川市、菊川市、袋井市、磐田市、森町、島田市、藤枝市、焼津市、吉田町

#### (5) 協 力

内閣府、原子力規制庁、浜岡原子力規制事務所、自衛隊、浜松市、中部電力株式会社 等

#### (6) 訓練想定

図上訓練では、最大震度 7 の地震を起因として、中部電力(株)浜岡原子力発電所 4 号機で、警戒事態・施設敷地緊急事態・全面緊急事態が発生し、その後放射性物質が放出され、各地点において一時移転が必要な空間放射線量率の上昇が認められた状況になったと想定する。実動訓練では、各訓練毎に個別の想定を設けて訓練を実施する。

(7) 訓練項目

区分	訓練項目
図上訓練	原子力災害合同対策協議会等活動訓練、緊急時モニタリング訓練、県・市町災害対策本部運営訓練、関係機関情報伝達訓練
実動訓練	住民避難訓練*、避難退域時検査場所運営訓練*、避難経由所運営訓練*、要配慮者屋内退避訓練、原子力災害医療訓練、消防隊員原子力防災資機材取扱訓練、警戒区域設定訓練 *感染症流行下における防護措置の方法について確認を含む

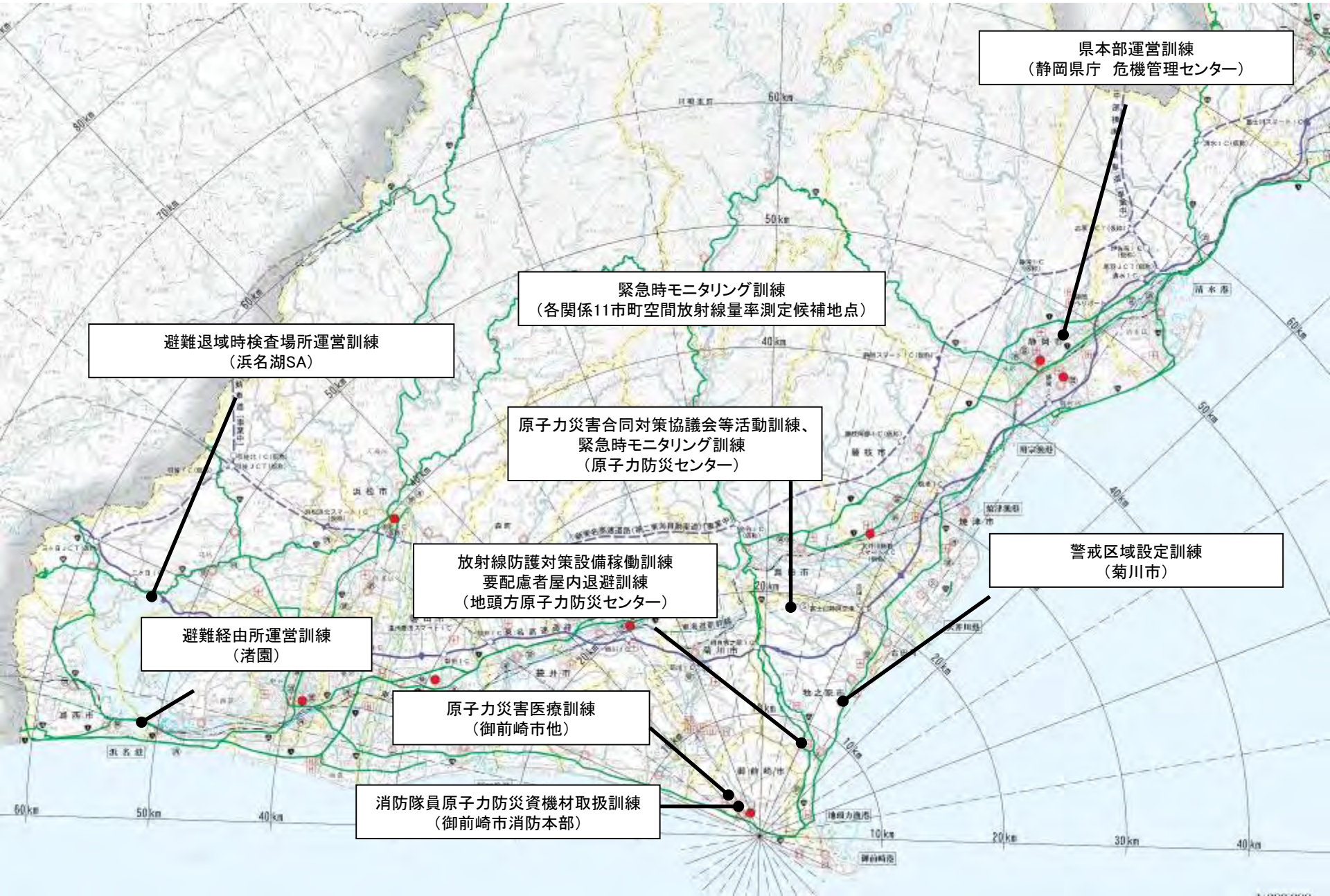
3 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策

- (1) 訓練参加者は、マスクやフェイスシールドの着用、訓練開始前・訓練中の手指消毒を徹底する。
- (2) 訓練参加者は、訓練当日、「新型コロナウイルス感染症に係る健康チェックシート」により各自の体調チェック及び行動チェックを実施し、該当項目がある場合には訓練の参加を見合わせる。
- (3) 図上訓練においては、訓練会場内での密な環境の形成を避けるため、訓練参加者は、要員指名を受けた者もしくは代理者に限定し、参加者は向かい合わないように着席する。

4 その他

- (1) 例年実施している、原子力発電所関係道府県、広域避難先都県・市町村（県内市町及び12都県）、静岡県防災・原子力学会議委員等への参観案内は行わない。
- (2) 危機管理部幹部の訓練視察は最小限とする。

# 令和3年度静岡県原子力防災訓練の概要



県本部運営訓練  
(静岡県庁 危機管理センター)

緊急時モニタリング訓練  
(各関係11市町空間放射線量率測定候補地点)

避難退域時検査場所運営訓練  
(浜名湖SA)

原子力災害合同対策協議会等活動訓練、  
緊急時モニタリング訓練  
(原子力防災センター)

放射線防護対策設備稼働訓練  
要配慮者屋内退避訓練  
(地頭方原子力防災センター)

警戒区域設定訓練  
(菊川市)

避難経由所運営訓練  
(渚園)

原子力災害医療訓練  
(御前崎市他)

消防隊員原子力防災資機材取扱訓練  
(御前崎市消防本部)